

私のふるさと



西山寺町
篠原 真莉衣 さん



熊本県
大津町

私のふるさととは熊本県大津町です。熊本県の中央に位置し、西には熊本市、東には阿蘇山を望むことができます。参勤交代の宿場町として栄えた大津町ですが、現在は「Honda」の熊本製作所をはじめとする工業も盛んで、自然と産業が調和するまちです。

熊本県は、漫画「ONE PIECE」の作者・尾田栄一郎さんの出身地でもあります。平成28年の熊本地震のとき、尾田さんの「必ず助けに行く」という声から「熊本復興プロジェクト 麦わらの一味ヒノ国復興編」が立ち上がりました。被災地の復興を手助けするというストーリーの基、熊本県内の各被災地にキャラクターのモニュメントが設置され、大津町にも建てられました。熊本県にいらした際は、大津町も含めて、ぜひ復興のシンボルとなっているモニュメントを巡りながら観光をしてもらいたいです。

福島には、同じく震災を乗り越えてきたもの同士の勝手な親近感がありました。須賀川に住んで5年になりますが、公共施設もきれいな所が多く、暑さ寒さに関係なく子どもが遊べる施設もたくさんあり、子育てがしやすい環境で助かっています。これからのものびのびと子どもが育っていく須賀川であってほしいと願っています。



サークルとわたし



そらいろのたね

代表者 矢吹朋子
 会員 10人
 発足年月 令和2年12月
 連絡先 ☎090(7520)7688
 活動日時 毎週火曜日(畑作業)
 随時(職業体験など)
 活動場所 市内

「そらいろのたね」は、子ども職業体験、親子自然体験、親子農業体験などのグループが集まり、より多角的に子どもの健全育成につながるイベントを企画運営していくため、令和2年に発足しました。

これまで、市民の森での宇津峰ハイキングや芋煮会、浜尾地区の畑を借りての野菜作りやコンポスト作り、市内の企業でヘアメイク体験などの職業体験や自分の将来についてまとめる「夢の地図ワークショップ」などを行ってきました。

情報が簡単に手に入る時代にリアルな体験の場を提供すること、自分たちの住む須賀川の魅力に触れることは、子どもたちの五感を刺激し、ふるさとへの愛情を育むかけがえのない機会になると信じ、今後も活動していきたいと思っています。



tette 情報

tetteでは、市民の皆さんが生涯にわたり学べるよう様々な世代に向けた講座や各種イベント、誰でも楽しむことができる行事などを行っています。詳しくは、tetteホームページやInstagramをご覧ください。



図書館だより

中央図書館 ☎(75)3309

- こども読み聞かせ会(読み聞かせの会ポケット)
10月14日(土)・28日(土) 午後2時30分
※自由参加(定員20人)
- おひざにだっこのおはなし広場
(おはなしの会ラ・ポム)
10月18日(水) 午前11時 ※自由参加(定員30人)
- リサイクル広場
10月26日(木)～29日(日) 午前9時～午後4時30分
- ビブリオバトルワークショップ
10月29日(日)・11月5日(日) 午前10時～11時30分 ※事前申込
- ボランティア活動推進研修会「製本講座」
11月3日(金・祝) 午後1時30分～4時 ※事前申込
- ビブリオバトル
11月12日(日) 午後1時30分～3時
※発表者(小学生以上)は事前申込。
観覧自由



こどもセンターだより

こどもセンター ☎(76)6687

- 子育て支援講座「親子でおやつ作り」
10月19日(木) 午前10時～11時 ※事前申込(先着6組)
- 親子イベント「ハロウィングッズをつくろう」
10月27日(金) 午前10時～10時30分
※事前申込(先着8組)
制作セットの配布 10月27日(金)～29日(日)
※事前申込(先着7組)
- 子育て支援講座「理学療法士パパの運動遊び」
11月2日(木) 午前10時～11時 ※事前申込(先着6組)
- 親子イベント「誕生カードづくり」
11月13日(月) 午前9時30分～11時30分
※事前申込(先着6組)
- お詫びと訂正
広報すかがわ9月号で「親子イベント『誕生カードづくり』」の開催日を10月11日(水)とお知らせしましたが、正しくは10月13日(金)となります。



中央図書館に保管されている「勝どき」

「勝どき」は戦時下の学校の様子を示す貴重な資料として、第3号から第5号が中央図書館に保管されています。博物館 ☎(75)3239

ふるさとの遺産

No.350

—学校の今昔—
第二小学校 その1

第二小学校は、明治42年に須賀川尋常高等小学校が男子部と女子部に分かれ、男子部を第一尋常小学校(以下、一小)、女子部を第二尋常小学校(以下、二小)として開校したのが始まりです。当時、二小の校舎は一小とともに現在の市役所の場所にありましたが、大正13年に現在の場所に新築移転しました。

昭和12年、日中戦争が始まると、全国で戦時色が濃くなり、学校教育にもその影響が及びます。当時の二小では、兵士たちを慰問するために「勝どき」と呼ばれる文集を作成し、児童が兵士たちへ感謝の気持ちを書いた手紙や戦争を題材とした俳句・短歌などを載せました。

「勝どき」は戦時下の学校の様子を示す貴重な資料として、第3号から第5号が中央図書館に保管されています。